

ふくし

7
月号



赤羽根家 © 中央共同募金会

とちぎ

July 2023

No. 509

- 発行／社会福祉法人栃木県社会福祉協議会
〒320-8508 宇都宮市若草1丁目10番6号 とちぎ福祉プラザ内
TEL 028(622)0524 / FAX 028(621)5298
- 編集・デザイン／有限会社随想舎
- 発行日／令和5年7月10日
- ホームページ／<https://www.tochigikenshakyo.jp/>



6月1日に、とちぎ福祉プラザ障害者スポーツセンター内に「とちぎパラスポーツ推進センター」が設置されました。スポーツを始めたい障がいのある方への運動の機会提供や、サポートする指導者やボランティアの確保及び資質向上が行われます。後ほど、この広報誌などでもご案内したいと思います。



県民の日イベント・とちぎナイスハートバザール in けんちょうの様子

も	特集	栃木県誕生150周年「県民の日イベント・とちぎナイスハートバザールinけんちょう」にぎわう	6
く	令和4年度	事業報告及び決算の概要	2
	栃木県社会福祉法人	経営者協議会からのお知らせ	12
	令和4年度	資金収支決算一覧表	5
	栃木県社会福祉協議会	賛助会員・栃の実基金で寄附の募集	12
じ	市町村協	ボランティア情報	8
		「ふくしとちぎ」の記事を募集します！	12
	令和5年度	新任職員紹介	9



この広報誌は、赤い羽根共同募金の助成により発行しています。

「ふくしとちぎ」の1面を飾る写真を読者の皆様から募ります。テーマは「福祉」に関するものです。とっておきの1枚をぜひお寄せください。

栃木県社会福祉協議会

令和4年度 事業報告及び決算の概要

令和4年度に実施した主な事業の概要を報告します。

I 県民参加型の地域福祉の推進

1 地域福祉への関心・理解の促進

- 「ふくしとちぎ」の発行（7,800部×7回）、他広報誌の発行
- ソーシャルメディアによる情報発信（Facebook、Instagram）



2 ボランティア・市民活動の振興・支援

- 第28回栃木県民福祉のつどいの開催（参加者数77人）
- 栃木県ボランティア活動振興センターの運営
- 市民、企業、労働組合等が実施する社会貢献活動の相談調整
- 「住民主体」の地域支え合い推進フォーラムとちぎ」の実施（1回、参加者100人）

3 福祉教育の推進

- とちぎ福祉教育研究会の開催
- 学童・生徒のボランティア活動普及事業（小地域でできる）福

- 社教育推進モデル事業）の実施（指定地域1か所…壬生町全域）
- 福祉講座・ボランティアスクール等の企画の相談、高齢者疑似体験装具の貸出（29日）、講師の紹介・派遣等の実施

4 民生委員・児童委員との協働

- 栃木県民生委員・児童委員協議会との連携・協働
- 新任・中堅民生委員・児童委員研修会の開催（参加者695人）
- 民生委員協力者・後継者育成講座の開催（5回）
- 民生委員活動一身体験事業の実施（1回）

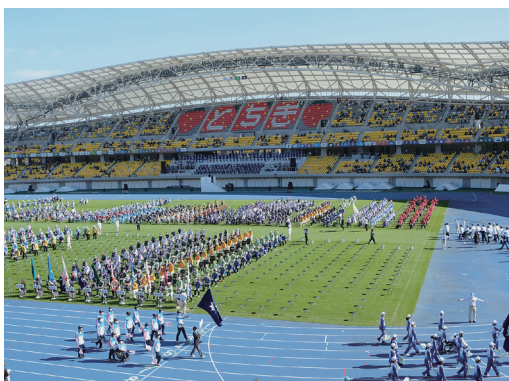
5 共同募金会との協働

- 各種募金活動・研修・事業等の連携

6 障害者の社会参加の促進

- とちぎ視聴覚障害者情報センターの運営（利用者数及び活動者数16,967人）
- 点字・録音図書の貸出（利用者14,019人、貸出数39,

- 237冊、新規登録者24人
- 字幕（手話）入りビデオ・DVDの貸出（利用者数179人、貸出数324本）
- 手話通訳者・要約筆記者の派遣・斡旋（手話通訳者延べ935件、要約筆記者延べ272件）
- 栃木県障害者ICTサポートセンターの運営（相談件数559件、講習会等の開催）
- 第77回国民体育大会・第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」における情報支援スタッフの養成・活動支援（スタッフ申込者数610人、活動者延べ1,647人）



第77回国民体育大会・第22回全国障害者スポーツ大会
【いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会】

7 福祉拠点における活動の充実

- とちぎ福祉プラザの円滑な運営（本館利用者131,943人、アリーナ利用者31,980人）

II 市町村協活動の推進・支援

1 市町村協の基盤強化と事業への支援

- 「地域共生社会」普及啓発シンポジウムの開催（1回、参加者94人）
- 地域福祉活動計画策定の支援策定事業への助成7か所、策定社協への個別支援
- 市町村協連絡会議、役職別研修会の開催
- 栃木県地域福祉振興基金（栃の実基金）事業の実施（18社協・54事業：12,620,000円）
- 社協業務ICT活用検討会、社協ICTリテラシー研修会の開催

2 住民主体の地域づくりを支援する人材の育成

- 相談支援コーディネーター養成研修の実施（基礎編6回・修了者27人、応用編2回・参加者数55人）
- 生活支援体制整備事業に係る担

当者情報交換会の開催（1回、参加者数38人）

- 生活支援コーディネーター養成研修（現任者向け）の実施（1回、参加者数46人）

III 福祉サービス利用者のための支援の強化

1 福祉サービス利用者の権利擁護の充実

- 日常生活自立支援事業（あすてらす）の充実
- 令和4年度末実利用者数986人
- 令和4年度市町村協相談件数21,610件、契約締結者数136人

2 成年後見制度の活用促進

- 法人後見事業の推進
- 担当職員（専門員）研修の実施（4回、参加者数延べ74人）、支援員養成研修の実施（3回、参加者数延べ53人）等
- 地域連携ネットワーク構築の推進

- 県民・相談支援機関からの相談対応、市町村協・市町中核機関等主催会議への職員派遣
- 成年後見制度利用促進研修会

の実施、成年後見制度普及啓発セミナーin足利の開催等

- 司法、福祉団体との連携体制の構築と事業推進

3 福祉サービス運営適正化の推進

- 運営適正化委員会機能の充実（受付相談件数1111件）
- 苦情解決のための調査、助言、斡旋、研修会等の開催

4 福祉サービスの質の向上の支援

- 福祉サービス第三者評価の推進（評価調査者研修の開催等）
- 第三者評価機関の認証（新規認証1評価機関）
- 第三者評価結果の公表（公表件数22件）

IV 福祉人材の確保と育成

1 福祉人材の確保と定着

- 無料職業紹介事業の実施
- 新規求人人数6,774人、月平均有効求人数1,606人
- 新規求人事業所数1,323か所、月平均有効事業所数243か所
- 紹介・応募人数283人
- 採用人数231人

*求職者数3,696人

- 求人・求職相談（求人4,460件、求職8,047人）
- 福祉のお仕事就職フェア（合同相談会）の開催（1回、参加法人54法人、参加者146人）
- 学校への出前講座の開催（小学校39校・参加者1,909人、中学校9校・参加者675人、高校3校・参加者230人）
- 潜在的有資格者等対象の講座開催
- 保育士・保育所支援センターの設置運営
- 修学資金、就職支援金貸付事業の実施

2 福祉人材の育成

- 専門研修（23研修・76日・参加者数延べ5,330人、eラーニング延べ1814人）、独自研修（4研修・4日・参加者数延べ259人）の実施

V 生活困窮者の自立支援の推進

1 生活困窮者への自立支援

- 市町村協と連携した生活困窮者への自立支援の推進（相談窓口

- 設置、相談員勉強会等)
 ● 生活困窮者自立支援事業を実施する関係機関との連携強化
- ## 2 貸付事業等による自立支援
- 生活福祉資金貸付業務の実施

*貸付中件数 47,571件
 18,412,394,365円
 (本則2,310件・1,069,080,974円、コロナ特例45,220件・17,110,849,031円等)

- 市町社協との連携による個別援助活動の実施
 ● 生活福祉資金等の債権管理の強化(訪問指導131件、面談57件、電話催促125件、督促状発行4回)
 ● 愛の基金交付事業の実施(寄附金13件・761,390円、交付件数1件・300,000円)

VI 社会福祉事業経営者等との連携、支援

- ### 1 社会福祉施設経営支援・団体との連携、支援
- 各種研修会、勉強会の開催(社会福祉法人経営者研修会等)
 ● 法人・施設訪問による指導・助

- 言(相談件数176件)
 ● 電話・来所相談に対する指導・助言(電話123件、来所5件)
 ● 社会福祉法人経営者協議会との連携、支援

- ### 2 社会福祉法人による地域における公益的な活動の推進
- 社会福祉施設団体との連携、支援(種別協議会からの事務委託等)

- 栃木県社会福祉法人による地域における公益的な活動の推進「いちごハートねごと事業」
 ● おこまり福祉相談連研修会、あんしん支援事業関連研修会の開催
 ● 地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修会の開催

VII 災害対応力の強化

- ### 1 災害対応力の強化
- 災害ボランティアセンター運営者研修の実施(運営コーディネーター研修、運営マネジメント研修等)
 ● 災害ボランティアセンター実践力強化プロジェクトとちぎの実

- 栃木県・栃木県社会福祉協議会「栃木県災害ボランティアセンター」の設置・運営等に関する協定の締結

- 災害ボランティア活動資機材ネットワークの構築及びネットワーク会議の開催(資機材ストックヤードの設置…県内5か所)

- 栃木県災害福祉支援チーム員(スキルアップ、保健・医療との連携)研修会の開催
 ● 令和4年台風第15号被害による災害ボランティアセンター運営支援(災害時相互支援協定に基づく静岡市への職員派遣…10月3日～11月30日まで)



VIII 県社協の組織活動の強化

- ### 1 組織体制の充実
- 理事会、評議員会等の開催
 ● 市町社協部会、社会福祉施設部会等の開催
 ● 社会福祉関係制度への対応強化

- ### 2 運営基盤の強化
- 会員事業の充実(普通会員550団体・会費7,988,600円、賛助会員63人・団体・会費600,000円)



栃の実駐車場

- 多様な財源の確保(図書斡旋・広告掲載等、有料駐車場の運営等)
 ● 地域福祉振興基金(栃の実基金)の造成及び適切な運用等(寄附12件949,827円、基金累計額1,377,855,008円)

- ### 3 経営の透明性の確保及び適正な組織運営
- 情報公開の促進、苦情への適切な対応等

- ### 4 新型コロナウイルス感染症への対応
- 職場における感染予防対策の実施、とちぎ福祉プラザ指定管理者としての対応等

令和4年度 資金収支決算一覧表

1 令和4年度総括資金収支計算書 (単位:円)

会計単位	収入決算額	支出決算額	差引残高 (収入決算額-支出決算額)
一般会計	1,065,613,220	1,293,939,295	△ 228,326,075
生活福祉資金会計	3,380,313,018	4,577,626,199	△ 1,197,313,181
要保護世帯向け 不動産担保型 生活資金会計	15,734,975	5,823,927	9,911,048
生活福祉資金 貸付事務費会計	3,338,934,195	6,663,705,937	△ 3,324,771,742
臨時特例 つなぎ資金会計	25,101	2,897,082	△ 2,871,981
計	7,800,620,509	12,543,992,440	△ 4,743,371,931

2 一般会計資金収支計算書 (拠点区分別) (単位:円)

社会福祉事業区分	収入決算額	支出決算額	差引残高 (収入決算額-支出決算額)
① 県民参加型地域福祉推進費	130,381,379	127,509,809	2,871,570
② 市町社協活動推進支援費	2,875,076	15,495,076	△ 12,620,000
③ 福祉サービス利用者支援強化費	133,327,080	131,589,840	1,737,240
④ 福祉人材確保育成費	103,899,442	102,314,524	1,584,918
⑤ 生活困窮者自立支援推進費	1,176,437	1,676,437	△ 500,000
⑥ 社会福祉事業経営者等連携支援費	12,845,192	12,407,192	438,000
⑦ 組織活動強化費	322,669,257	317,217,646	5,451,611
⑧ 災害対策対応費	7,255,104	6,589,710	665,394
⑨ 共同募金配分金事業費	7,050,000	7,050,000	0
合計	721,478,967	721,850,234	△ 371,267
公益事業区分			
① 県民参加型地域福祉推進費(公益)	159,825,269	156,730,366	3,094,903
② 福祉サービス利用者支援強化費(公益)	1,863,410	1,132,481	730,929
③ 福祉人材確保育成費(公益)	149,607,828	388,828,009	△ 239,220,181
④ 生活困窮者自立支援推進費(公益)	2,730,960	6,295,280	△ 3,564,320
⑤ 社会福祉事業経営者等連携支援費(公益)	4,097,406	2,176,174	1,921,232
合計	318,124,873	555,162,310	△ 237,037,437
収益事業区分			
① 組織活動強化費(収益)	26,009,380	16,926,751	9,082,629
合計	26,009,380	16,926,751	9,082,629
3事業区分合計	1,065,613,220	1,293,939,295	△ 228,326,075

3 一般会計資金収支計算書 (科目別) (単位:円)

収入	R4 決算額	R3 決算額	差異 (R4 - R3)
事業活動収入	767,088,169	742,551,125	24,537,044
施設設備等収入	0	5,000	△ 5,000
その他の活動収入	298,525,051	416,016,554	△ 117,491,503
前期末支払資金残高	1,166,271,090	1,207,716,041	△ 41,444,951
収入計	2,231,884,310	2,366,288,720	△ 134,404,410

事業活動収入内訳	R4 決算額	R3 決算額	差異
会費収入	8,588,600	8,738,400	△ 149,800
寄附金収入	1,211,217	622,780	588,437
経常経費補助金収入	278,975,287	278,904,163	71,124
受託金収入	343,585,302	342,397,825	1,187,477
貸付事業収入	5,366,467	8,336,097	△ 2,969,630
事業収入	66,513,864	48,853,095	17,660,769
負担金収入	9,923,434	9,179,400	744,034
受取利息配当金収入	7,123,931	7,787,814	△ 663,883
その他の収入	45,800,067	37,731,551	8,068,516
事業活動収入計	767,088,169	742,551,125	24,537,044

支出	R4 決算額	R3 決算額	差異
事業活動支出	1,076,725,095	1,086,930,288	△ 10,205,193
施設整備等支出	2,508,000	226,416	2,281,584
その他の活動支出	214,706,200	112,860,926	101,845,274
予備費	0	0	0
支出計	1,293,939,295	1,200,017,630	93,921,665

事業活動支出内訳	R4 決算額	R3 決算額	差異
人件費支出	328,265,415	327,858,515	406,900
事業費支出	569,323,326	590,999,847	△ 21,676,521
事務費支出	137,192,811	120,676,233	16,516,578
助成金支出	30,466,363	36,462,647	△ 5,996,284
負担金支出	9,057,200	9,038,910	18,290
支払利息支出	0	2,976	△ 2,976
その他の支出	2,419,980	1,891,160	528,820
事業活動支出計	1,076,725,095	1,086,930,288	△ 10,205,193



心を込めて作った製品を販売する事業所関係者

*栃木県誕生150周年「県民の日イベント」

「とちぎナイスハートバザール

inけんちよう」にぎざう

「とちぎナイスハートバザールinけんちよう」が、6月10日、栃木県庁本館1階ロビーで開かれました。会場いっぱいになったブースには、県内の障害者就労支援事業所で生産されたバラエティーに富んだ品々が所狭しと並びました。各ブースにはたくさんの人たちが訪れ、多くの商品を買って帰りました。

「とちぎナイスハートバザールinけんちよう」は、多くの県民に障害者就労支援事業所の取り組みを

知ってもらうとともに、各事業所で作られた商品の販売促進を図り、障害者の工賃アップに寄与することを目的として開かれています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、ここ数年は規模を縮小するなどして実施してきましたが、今年は本来の姿に戻っての開催となりました。特に今回は栃木県誕生150周年記念「県民の日イベント」の一環に位置づけられ、大勢の来場者でにぎわいました。

パンや雑貨、農産物も

バザールの運営は栃木県社会福

祉協議会内の「とちぎセルプセンター」が担当しました。「セルプ（SELP）」とは、働く意欲がありながら、障害などによって一般企業への就職が難しい人々のために、働く機会や訓練の場を提供している事業所の総称です。センターには、現在、155事業所が会員として名を連ねています。今回は、県内各地の会員の中から19事業所がブースを出展しました。

各ブースでは、パンや焼き菓子、弁当、手作り雑貨、コーヒー、絵画など数多くの商品が販売されました。近年、多くの施設で取り入れられるようになった「農福連携」も反映して、米や野菜などの農産



農産物が並ぶブースも

物も並びました。商品はすべて、施設を利用する人たちが真心を込めて作ったものです。

商品を楽ししく購入

バザール会場は、天候に恵まれたこともあって、朝からたくさんの人でにぎわいを見せました。来場した人たちは、各ブースに立ち寄り、商品を手取るなどしながら、楽しそうに買っていく姿が目立ちました。販売する人たちの



ナイチュウ基金への募金も集まりました

人気で、行く先々で取り囲まれ、一緒に記念写真に収まる姿が見られました。また、会場の一角には「栃木県地域福祉基金（ナイ

『ひびき』では、普段は作ったお菓子類を施設近くの企業の社員や、保育所・学校の先生たちなどに出張販売しているとのこと。薄井奈津子副施設長は「一般の人たちと広く交流ができるこうした機会は本当にありがたい。できるだ

会場には栃木県の福祉のマスケット「ナイチュウ」も駆け付け、各ブースを巡ってバザールを盛り

ナイチュウ基金人気

け参加するようにしています」と話しました。販売を担当した施設利用者の須田多恵さん(39)は、マドレーヌ製造のベテラン。「自分たちが作ったものを喜んでもらえるのがうれしい。出張販売とは違った雰囲気がありますね」と笑顔を見せました。阿久津瑛亮さん(27)も「販売会は久しぶりなのでとても楽しい」と語りました。

交流がとても楽しい

会話も弾んでいました。宇都宮市内の「社会福祉法人恵友会『ひびき』」は、マドレーヌやラスク、タルトなどを出品。特にオリジナルの「いちごタルト」の人氣が高く、午前中には完売しました。

上げました。特に子どもたちには大人気で、行く先々で取り囲まれ、一緒に記念写真に収まる姿が見られました。また、会場の一角には「栃木県地域福祉基金（ナイ

「県民の日イベント」の県庁前「芝生広場」には、「福祉人材・研修センター」が、「知っていますか？福祉・保育のお仕事」のブースを出展しました。介護士や保育士の仕事のPRとともに、センターが手がける各種講座や就職フェア、スタート講座などへの参加を呼びかけるのが目的です。



一生懸命クイズに挑戦する家族連れ

福祉人材・研修センターが出演

●●知っていますか？ 福祉・保育のお仕事 ●●

「福祉人材・研修センター」の募金箱が設けられました。基金は地域福祉の充実に目的に、個人や企業・団体から寄付を募るものです。500円を寄付すると、毎年デ

ザインが変わるナイチュウグッズがプレゼントされます。募金箱があるブースには、バザールを訪れた人たちが次々に訪れ、寄付していました。

くさんいます。そうした人たちが再び福祉の現場で働けるようお手伝いをしたい」と話しました。

那須烏山市社会福祉協議会

烏山高校で福祉動画づくり

烏山高校まちづくり・ボランティア同好会は「福祉チャレンジプロジェクト」の一環として、2022年度、福祉動画の制作に取り組みました。視聴対象は小学生。お年寄りたちが日々、どのように暮らし、どんなことを望んでいるのか、子どもたちが分かりやすく学べる動画をつくるというのがコンセプトでした。



お年寄りにインタビューする高校生たち

担当したのは現在3年生の男子生徒たちです。あらかじめ内容を話し合っ、インタビューに臨みました。

普段、高齢者と交流する機会はありません。とても緊張しましたが、大森春輝さん。何回か撮り直す場面もありましたが、お年寄りたちは快く応じてくれたそうです。山下翔也さんは「皆さんが明るく生活している様子に元気づけられました」。編集を担当した加藤紘希さんは「小学生に分かるようにするにはどうすればいいか難しかったです」と振り返ります。

動画制作は、新型コロナウイルスの広がりの中で、直接的な交流が難しくなる中での試みでした。制作を支援した那須烏山市社会福祉協議会の曾根駿介さんは「作業を通して、高校生と高齢者のコミュニケーションが深まっていた。完成後、高校生自身もいろいろ意見を出し合い、次につながる学び合いができたように思います」と評価しています。

手話・要約筆記
チャレンジ講座

いちご一会 キャラバン

2022年に開催された「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」のレガシーを受け継ぎ、県内各地を巡って、手話通訳者や要約筆記者の養成につなげるための講座を開催する取り組みです。

【参加費無料】
手話・要約筆記
について一緒に
学びませんか？



地域	会場	期日	定員
県北	東那須野公民館 (那須塩原市東小屋 474-11)	第1回：7月16日(日)	要約筆記：30名 手話：30名
		第2回：9月24日(日)	
		第3回：11月26日(日)	
県東	茂木町町民センター (茂木町大字茂木 151)	第1回：7月30日(日)	要約筆記：30名 手話：30名
		第2回：10月8日(日)	
		第3回：12月10日(日)	
県西	日光市中央公民館 (日光市平ヶ崎 160)	第1回：8月20日(日) 第3回：1月21日(日)	要約筆記：30名 手話：30名
	日光市大沢公民館 (日光市大沢町 809-1)	第2回：10月22日(日)	
県南	佐野市中央公民館 (佐野市金井上町 2519)	第1回：9月10日(日)	要約筆記：30名 手話：30名
		第2回：11月19日(日)	
		第3回：2月4日(日)	

お申込み・お問合せは、「とちぎ視聴覚障害者情報センター」(TEL・FAX 028-627-6889)までお願いします。

令和5年度

新任職員紹介

● 眞田 結

● 採用から3か月働いてみてどうですか？

まだまだ不安なことも多いですが、みなさんに助けていただきながら、働くことができています。

● 担当業務は？

福祉の人材確保や定着に関わる業務を担当しています。主に、福利厚生事業、福祉人材・研修センター・ニュースの発行等があります。



● 職場の雰囲気は？

とても明るく楽しい雰囲気です。わからないことはすぐに相談できるので、新人の私も安心して働くことができています。

● 休日の過ごし方は？

趣味がたたくさんあるので過ごし方は様々ですが、愛犬とのんびり過ごす休日が好きです。

● 今後の意気込みは？

日々成長し、早く一人前の職員になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。

● 福澤 正希

● 採用から3か月働いてみてどうですか？

新しく学ぶことも多く、周りの皆さんに色々聞きながら、日々の業務に努めています。

● 担当業務は？

主に生活福祉資金の貸付業務を担当しています。

● 職場の雰囲気は？

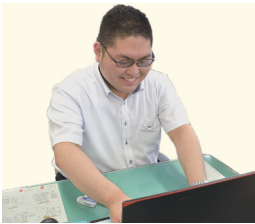
業務において判断が難しい事もすぐに相談することができ、明るく和やかな職場であると感じています。

● 休日の過ごし方は？

車でドライブする事が多く、景色を見る事や、現地で買い物等をしていきます。

● 今後の意気込みは？

多くの知識を得つつ、色々な経験しながら、一人前の職員になれるよう頑張っていきます。



一人前の職員になれるよう頑張っていきます。



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットはコチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
賠償責任の補償	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)		初日から補償		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

お知らせ 福利厚生センター（ソウェルクラブ）について

職員の福利厚生に福利厚生センター（ソウェルクラブ）を活用しよう！



魅力ある職場づくりのために

福利厚生センター（ソウェルクラブ）に加入しませんか？

福利厚生センターは、全国の社会福祉事業従事者に対し、福利厚生事業を提供しています。中小規模の法人が多い社会福祉事業分野では、個々の法人で豊富な福利厚生を提供することはなかなか難しいと思われる。福利厚生センターでは、全国規模というメリットを生かし、多様なサービスを提供しています。法人単位ではなく、事業所単位で加入が可能で、会員となることで多様なサービスを利用することができます。

加入について

- しくみ…社会福祉事業または介護保険事業の経営者と福利厚生センターが契約します
- 掛 金…1人当たり毎年度1万円（非常勤職員は、1万円もしくは5千円（サービスの指定あり）の選択制）
- 契約期間…契約成立日から翌年3月31日までの期間

ソウェルクラブ基本サービス

- 生活習慣病予防検診費用助成（最大4,000円）
- 健康生活用品給付（3,000円相当、毎年1品）
- 結婚・出産・入学お祝品贈呈（商品券）
- 永年勤続記念品贈呈（5年ごとの勤続）
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈
- 死亡弔慰金、入院・手術・災害時の見舞金
- 各種講習会、海外研修補助
- クラブ・サークル活動助成（1人1,000円）
- 手帳、情報誌の配布 等

*左記サービスのほか、栃木県独自の会員交流事業（栃木事務局事業）も実施します。

通常料金の半額程度でバスツアーやチケット購入ができるサービスです。

*会員交流事業 [令和4年度 実施事業] チケットあっせん事業

- | | |
|-------------------|---------------|
| 「山のレストラン」お食事クーポン | 劇団四季「アナと雪の女王」 |
| 「オトワレストラン」お食事クーポン | 狂言 万作の会 |
| 「クローバー」お食事クーポン | 映画鑑賞券 |
| 「肉のふきあげ」お食事クーポン | 宿泊・日滞り温泉クーポン |
| 「月山」お食事クーポン | ジェフグルメカード |
| 劇団四季「ライオンキング」 | |

[ソウェルクラブについてのお問い合わせ先] 福祉人材・研修センター TEL 028-643-5622

栃木県委託事業

介護に関する 入門的研修

参加費
無料

就職相談
有り



初心者
向け

どなたでも参加できます
介護の基本が学べる!!

介護の仕事に
興味・関心のある方

子育てが一段落した方
定年退職を予定している方

介護に興味のある方、介護の仕事に従事することを考えている方などに向けた、短期間（5日間）で介護の知識・技術を学べる入門的な研修です。

県央地区【5日間】 定員 15名	県東地区【5日間】 定員 15名
① 10月12日（木）13:10～16:30	① 9月4日（月）13:10～16:30
② 10月13日（金）10:00～16:00	② 9月5日（火）10:00～16:00
③ 10月19日（木）10:00～16:00	③ 9月12日（火）10:00～16:00
④ 10月20日（金）10:00～16:00	④ 9月19日（火）10:00～16:00
⑤ 10月25日（水）13:00～16:00	⑤ 9月20日（水）13:00～16:00
とちぎ福祉プラザ（宇都宮市若草 1-10-6） 申込期限 9月25日（月）	二宮コミュニティセンター（真岡市石島 893-15） 申込期限 8月14日（月）

申 込
問 合 せ 先

社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター

〒320-8508 栃木県宇都宮市若草 1-10-6 とちぎ福祉プラザ内

TEL. 028-643-5622

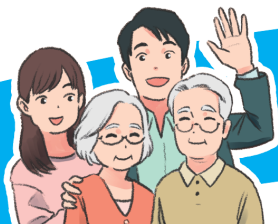
FAX 028-623-4963

令和5年度

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!



ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
 - オプション2 ● 施設の医療事故補償
 - ・ 医務室の医療事故補償
 - ・ 看護職の賠償責任補償
 - オプション3 ● 施設の借用不動産賠償事故補償
 - オプション4 ● クレーム対応サポート補償
 - オプション5 ● 施設の感染症対応費用補償
休業補償から各種対応費用までワイドな安心
- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

- 2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- 2 役員・職員の傷害事故補償
- 3 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

社会福祉法人・施設の運営で困っていることはありませんか？

「福祉施設経営指導事業」～経営指導員による相談・指導のご案内～

●「福祉施設経営指導事業」では、各社会福祉法人・施設が行う経営の取り組みに対し「経営指導員」による専門的な相談・指導を行っています。

【経営指導員】

- ①運営全般に係る法律上の相談（弁護士）
- ②会計・税務に関する相談（税理士）
- ③人事・労務に関する相談（特定社労士）
- ④法改正への対応や法人運営に関する相談（元福祉行政職、元福祉施設長）

●県内の社会福祉法人であれば相談は無料です。どのようなご相談でもお気軽にお寄せください。経営指導員による相談は、基本的には電話対応になります。なお、内容により、面談、施設訪問など対応いたします。

●ご利用希望の方は、下記にご連絡ください。

栃木県社会福祉協議会 経営指導室 TEL 028-622-5711

「栃木県社会福祉協議会賛助会員・栃の実基金ご寄附の募集」

栃木県社会福祉協議会では、市町社会福祉協議会、福祉施設、民生委員・児童委員やボランティア団体などへの支援を通して、地域の特性に合わせた福祉・ボランティア活動を推進しています。

皆様のご参加により本会の活動を充実させることができますので、ぜひともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●本会へのご支援方法

①賛助会員

- ・本会の趣旨・目的に賛同する企業・篤志家の皆様です。賛助会費は一口5,000円からとなります。
- ・会員サービスとしては、本会広報誌をはじめとした各種福祉情報の提供、本会主催研修の受講費用の割引などがあります。

②栃木県地域福祉振興基金「栃の実基金」へのご寄附

- ・皆様からの善意の寄附金を原資とし、その運用から生まれる果実（利子）で地域の福祉・ボランティア活動を支援しています。
- ・栃の実基金で支援する活動には、高齢者や障害者を対象としたサロンを開催する居場所づくり、親子向けの子育てサロンや子ども食堂などを開催する子育て支援、災害支援活動などがあります。

皆様から寄せられた会費やご寄附は、様々な福祉・ボランティア活動の振興を図るための財源として大切に活用させていただきます。

詳しくは、本会ホームページまたは総務企画課までお問い合わせください。

【本会会員の皆様へ】「ふくしとちぎ」の記事を募集します！

本会をご支援いただいている会員の皆様の取り組みを本誌でご紹介させていただきます。

「ふくしとちぎ」の誌面をPRに活用してみませんか？

「ふくしとちぎ」は、県内外の社会福祉協議会や社会福祉施設、関係企業、学校、民生委員・児童委員の皆様など、広く配布しているほか、本会ホームページでも公開しています。

募集内容について

- ・本会の地域福祉推進のパートナーとして、「ふくしとちぎ」内で会員施設・団体様のご紹介をさせていただきます。
- ・各会員様のPRのほか、本会との繋がりや地域貢献・ボランティア等の取り組みについて掲載させていただきます。
- ・掲載は「ふくしとちぎ」1ページ分を予定しています（誌面の都合により調整させていただくことがあります）。
- ・掲載をご希望の会員様は、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

社会福祉法人栃木県社会福祉協議会 総務部総務企画課 「ふくしとちぎ」担当
TEL 028-622-0524 FAX 028-621-5298 メール somu@tochigikenshakyo.jp